

「広島神楽」定期公演へようこそ!

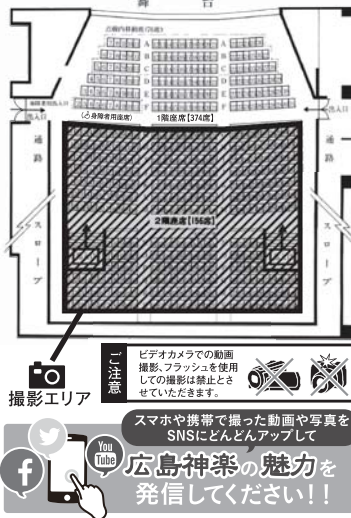
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



4月25日のタイムスケジュール

出演：安野神楽団（安芸太田町）

19:00～開演

19:05～第一幕『山姥』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『戻り橋』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

やすのかぐらだん

安野神楽団プロフィール ～山県郡安芸太田町～

広島県山県郡安芸太田町穴本郷の鷹崎八幡神社を氏神として、明治42年11月27日に「本郷奉楽会」として結成した後、本郷神楽団となり、昭和55年に安野神楽団へ名称変更し、本年度110年となります。

矢上系六調子(旧舞)を中心に新舞も取り入れながら各地の秋祭り、イベントなどに奉納させていただいております。

先人たちが残してくれた神楽を大切に伝承しつつ「新しい創造」も行っていきたいと思っております。

今後も皆様のご支援ご指導をよろしくお願いいたします。

第一幕『山姥』(やまうば)

越後の国・上路(あげろ)の山に、山賊退治という勅命を受けた源頼光(みなもとのらいこう)と渡辺綱(わたなべのつな)は迷い込みます。山中のただ一つの灯を見つけ、一夜の宿を願います。しかし、この家に暮らす母と子は、都を追われ世を呪い、人々を恨み、上路の山の山賊となって悪行を重ねる山姥とその子・怪童丸(かいどうまる)でした。

山姥と怪童丸は、武勇の誉れ高き頼光と知らず悪事を企みますが、戦いに敗れ、山姥は怪童丸を見捨てて逃げます。しかし、すぐ立ち戻り我が身の上を明かし、母の一命に替えて怪童丸の命乞いをします。頼光はこの母子の運命を不憫(ふびん)に思い命を助け、怪童丸を家来として都へ連れ帰るとい物語です。

怪童丸は、後に坂田金時(さかたのきんとき)と名乗り、頼光の四天王の一人となります。

【出演】	大太鼓 … 松本 樹	源頼光 … 伊田 光志	山姥 … 沖野 秋雄
	小太鼓 … 伊田 智世	渡辺綱 … 西川 正典	怪童丸 … 沖 正紀
	手打鉦 … 岡田 信昭		
	笛 … 辰川 和樹		

第二幕『戻り橋』(もどりばし)

大江山、酒呑童子の手下、茨木童子は夜ごと都人に化相して戻り橋あたりに出没しては、都民たちに災いをかけます。頼光の家人、渡辺綱が命を受けて征伐に向かいます。茨木童子は老女に化相し、通りかかった傘売り善兵衛に、傘を買うからと言って近寄ると、いきなり鬼女の正体を現します。折しも渡辺綱が通ると女に化相して京の五条まで連れて行ってほしいと頼みます。道すがら川面に映った女は鬼の姿でした。魔術を使う鬼は、襲いかかり綱を倒します。そこに岩清水の神の弊を持った坂田金時が加勢して闘い、鬼の左腕を切り落とすものの、鬼は北の空へと逃げ去っていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 沖野 秋雄	渡辺綱 … 伊田 光志	茨城童子 … 松本 樹
	小太鼓 … 岡田 信昭	坂田金時 … 西川 正典	酒呑童子 … 沖 正紀
	手打鉦 … 国好 敏明	善兵衛 … 辰川 和樹	
	笛 … 伊田 智世		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。